

介護予防活動普及展開事業 国アドバイザー研修を開催しました

日時：平成 31 年 2 月 25 日（月） 10：00～15：15

場所：広島県医師会館

参加者：79 名（地域包括支援センター職員 58 名，市町職員 17 名，県保健所 4 名）

この研修は、介護予防活動普及展開事業の国アドバイザーである安本勝博氏（岡山県津山市こども保健部健康増進課主幹（兼）環境福祉部高齢介護課主査，作業療法士）を講師として招き、「地域ケア個別会議から始まる継続的支援活動の視点」について、岡山県津山市の実践に基づいた取組の講義とグループワークを行いました。

講義は、津山市における自立支援の定義の作成の経過，自立支援の考え方や地域ケア個別会議（自立支援型地域ケア個別会議）を成功に導くためのコツ，地域ケア個別会議から短期集中サービスC，住民運営の通いの場への連動など経験に基づいた内容でした。

グループワークは各グループが話し合いたいテーマを決めて，解決策を話し合い，各グループの発表時に講師からヒントもいただきました。

研修の参加者から、「自立支援について住民に理解してもらうための伝え方を変えてみたいと思った。」「地域ケア個別会議で助言者の発言内容に不全感を感じるが多かったが，研修を受けて専門職のそれぞれの立場での研修が大切だと思った。」「本当に本人の思いに沿ったものなのか，支援者の思い込みが入っていないか，本人の思いを聴けるよう頑張りたい。」等の声がありました。

